

大学院共通科目／総合科目Ⅰ

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

春AB 「社会基礎学～ グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ」

秋AB 「社会基礎学～ グローバル人材に不可欠な教養Ⅱ」

産業界・官界のトップランナーがオムニバス形式で講義をします。

今、企業でどんな人材が求められているのか？

学生に何を身に付けてほしいのか？ 土曜の午後を、貴方のキャリアアップの時間に充ててください。

【開講日時】 隔週 土曜日

13:30～16:30 (※講義日は裏面)

初回は13:00開始

【場所】 春日講堂 (春日エリア)

大学院共通科目

大学院アドバンスト・ディスカッションコースⅠ・Ⅱ・Ⅲ

春ABC 「流動化する世界とこれからの日本」

春BC 「グローバル時代の企業経営について」

秋AB 「テクノロジーとグローバルで拓く未来」

オムニバス形式で講義をされた産業界のトップランナーが、ディスカッションを通して
社会人基礎力として重要なさまざまな能力を育成します。



2015年度



JAPIC 会長

宗岡 正二

Shoji Muneoka

新日鐵住金(株) 代表取締役会長

JAPICとは

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会 (Japan Project-Industry Council : JAPIC) は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済・環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目的として活動して参りました。現在39業種205社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラトホーム形成等活動を行っています。

開設趣旨

いま世界では、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT技術の進歩などにより、人材や情報、資金が国境を越えて行きか、同時に国や都市・地域間の競争が激化しています。一方で少子高齢化や地球規模での環境問題、資源エネルギー問題など、世界を取り巻く様々なグローバルアジェンダに対処していくことも求められています。

この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。

具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化と日本のあり方」、②「政治・政策」、③「安全保障・憲法」、④「経済・産業」、⑤「資源・エネルギー」、⑥「世界／アジア」(順不同)

また、大学院生を対象に、産業界のトップリーダーによるアドバンスト・ディスカッションコースを開設します。最新の社会、国際、ビジネス等分野の課題を捉え、議論を行い、深く考察していきます。

学生に期待するもの

講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か」、「グローバル化の中で日本は?」について理解し、様々な地球規模の課題に対して強い関心と好奇心を持ち、グローバル時代に果敢にチャレンジし活躍する人材を目指すことを期待します。

春AB

「社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ」

第1回
4/18
[土]
13:00～16:30

【導入講義】連続リレー講義の意味・意義と狙い

門脇 直哉 *Naoya Kadowaki*
JAPIC 常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味：テニス、ゴルフ、読書

【パネルディスカッション】【第1部】
グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?
【パネルディスカッション】【第2部】
学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

進藤 秀夫 *Hideo Shindo*
東北大学 理事 産学連携担当

プロフィール◆1986年通商産業省入省。(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構ワシントン事務所長、経済産業省産業再生課長、紙業生活文化用品課長、大学連携推進課長。(独)産業技術総合研究所企画本部副本部長などを経て2013年7月より現職。神奈川県出身。趣味：よく食べ寝り、そして歩くこと。

吉村 麻央 *Mao Yoshimura*
石破茂策議院議員 政策担当秘書

プロフィール◆1972年東京生まれ。早稲田大学在学中、政策担当秘書資格試験に合格。卒業後、石破茂事務所勤務。国務大臣防衛庁長官秘書官などを務める。好きな言葉「楽しい、高みに」(エース)

門脇 直哉 *Naoya Kadowaki*
JAPIC 常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味：テニス、ゴルフ、読書

佐藤 忍 *Shinobu Sato*
本学教員

プロフィール◆本学教員

野村 港二 *Koji Nomura*
本学教員

プロフィール◆本学教員

講義概要◆授業概要：グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。



第2回
4/25
[土]
13:30～16:30

1. 総合商社の活動内容 2. 少子高齢化とエネルギー問題にどう対応していくべきか

島崎 豊 *Yutaka Shimazaki*
丸紅(株) 参与 秘書部長 兼 広報部長

プロフィール◆1982年丸紅(株)入社。海外におけるインフラ施設の建設および投資事業に従事し、特に上下水等の水ビジネスを先がけて推進。経営トップの財界・社外活動の補佐業務等、社業の広報活動に従事。日本創生委員。慶応義塾リーディング大学院特任教授。東京都出身。学生時代：体育会グラウンドホッケー部所属。趣味：スイミング、ゴルフ。

講義概要◆1.総合商社の最新の活動内容を具体的な事例を挙げて説明。2.日本が直面している少子高齢化と、エネルギー問題にどう対応していくべきかについて話す。

国際政治とインターネット

梶浦 敏範 *Toshinori Kajiura*
(株)日立製作所 情報・通信システム社 上席研究員

プロフィール◆愛知県出身。1981年名古屋大学情報工学専攻修了後、日立製作所入社。IT機器やソリューションの企画・開発などを経験し、2002年より、政府のIT政策に関わる。政策に関する社外活動が多く、経団連ではインターネットエコノミー作業部会主査、サイバーセキュリティ懇談会座長、個人情報保護法改正に関する意見のとりまとめを務め、情報通信学会理事なども務める。

講義概要◆20世紀後半以降、最も革新的な伸び、社会に影響を与えたのはIT(情報通信技術)である。特にインターネットの登場はあらゆる業種・分野に著しい変化を迫った。インターネットには国境がなく、国という統治機構を越えた存在になっている。国家レベルのサイバー攻撃に対し国が報復を表明し、「第5の戦場」と言われる空間にもなった。ここでは、国際政治とインターネットの関わりについて政府や産業界の動向を交え解説する。

第3回
5/9
[土]
13:30～16:30

産業の近・現代史概論そして今日的課題

武田 厚 *Atsushi Takeda*
日鉄住金鋼板(株) 取締役相談役

プロフィール◆1970年新日鐵(株)入社。西ドイツ(当時)ルール大学に留学。建材営業部長、薄板営業部長、取締役大阪支店長を経て、2006年日鉄鋼板(株)社長、2006年住金建材との事業統合により日鉄住金鋼板(株)社長。2014年7月から同社取締役相談役。東京都出身。中学から社会人(30歳)までサッカー部所属。現在は(社)日本女子サッカーリーグ理事。

講義概要◆鉄鋼・自動車・電機を軸に明治以降の産業の芽生え、戦後の発展について整理し、日本経済の足跡をたどる。その上で、アベノミクス3年目を迎えた今日、日本の企業(特に製造業)が抱える経営課題と展望について論述する。

日本の安全保障環境と防衛政策

鈴木 敦夫 *Atsuo Suzuki*
防衛省 防衛政策局 次長

プロフィール◆1985年防衛庁入庁。総理府国際平和協力本部事務局参事官補佐、米国防大学国家戦略研究所客員研究員、防衛局防衛政策課研究室長(兼)調査課情報室長、運用局運用課長、運用企画局国際協力課長、防衛政策局調査課長、防衛政策局防衛政策課長、大臣官房米軍再編調整官などを経て現職(いずれも当時の名称)。

講義概要◆2013年12月に我が国最初の「国家安全保障戦略」とともに、新たな「防衛計画の大綱」が策定された。新興国の台頭により国家間のパワーバランスが変化する中、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増している。これに対して、我が国の新しい安全保障・防衛政策はどう対応しようとしているのか。特別な軍事知識等は不要。時事問題を扱いながら分かり易く解説したい。

第4回
6/13
[土]
13:30～16:30

現代の金融システム

吉村 隆 *Takashi Yoshimura*
ゴールドマン・サックス証券(株) コンプライアンス部門統括 マネージングディレクター

プロフィール◆1985年日本銀行入行。IMF 出向、ニューヨーク事務所次長、政策委員会企画役を経て、2007年ゴールドマン・サックス証券(株)の現職に就任。日本創生委員。趣味：旅行、オペラ、ゴルフ。座右の銘：天網恢恢疎にして漏らさず。

講義概要◆金融は企業や個人が経済活動を行う上で不可欠な役割を果たしている。その一方で経済に悪影響を与えることもある。講義では/ランスの取れた見方を提示してみたい。

都市のグローバル化と国際競争力

三輪 恭之 *Yasuyuki Miwa*
森ビル(株) 都市政策企画室(JAPIC 出向) 事業企画部部長

プロフィール◆1983年森ビル(株)入社。都市開発コンサル会社、森記念財団主席研究員を経て現職。この間、官民連携による開発事業のアドバイザーとして全国各地の開発プロジェクトに参画。「世界の都市総合ランキング Global Power City Index」のプロデュースを担当。趣味：ダイビング、料理、スイーツ食べ歩き。

講義概要◆地球規模で都市化が進み、グローバルに人モノ情報が世界を行きかい、都市の力が国全体の力を左右する時代になった。また、かつてはローカルな次元で捉えられていた不動産も金融商品として瞬時に世界を飛び回るようになり、グローバルスタンダードを求められるようになった。世界の都市の潮流からグローバル時代において国際競争力ある都市づくりとはどうあるべきかについて考えたい。

第5回
6/20
【土】
13:30~16:30

日本の資源・エネルギー戦略

山崎 琢矢 *Takuya Yamazaki*

経済産業省 資源エネルギー庁電力市場整備課長

プロフィール◆1996年4月経済産業省入省。この間、電気事業制度改革(1998年~2000年)、ベンチャー企業育成政策(2000年~2002年)、サイバーセキュリティ政策(2002年~2006年)、国際経済政策(2008年~2010年)を担当。商務情報政策局政策企画委員、大臣官房会計課政策企画委員、資源エネルギー庁電力ガス改革推進室企画官を経て、2014年10月~現職。

講義概要◆資源・エネルギーは産業活動と国民生活の礎。日本を取り巻く環境が変化中、いかなる戦略を構築し実行していくか。海外各国の動向にもふれつつ、日本の成長を支える強靱なエネルギー戦略を考える。

【パネルディスカッション】資源・エネルギー・環境戦略

山崎 琢矢 *Takuya Yamazaki*

経済産業省 資源エネルギー庁電力市場整備課長

プロフィール◆1996年4月経済産業省入省。この間、電気事業制度改革(1998年~2000年)、ベンチャー企業育成政策(2000年~2002年)、サイバーセキュリティ政策(2002年~2006年)、国際経済政策(2008年~2010年)を担当。商務情報政策局政策企画委員、大臣官房会計課政策企画委員、資源エネルギー庁電力ガス改革推進室企画官を経て、2014年10月~現職。

山崎 亜也 *Aya Yamazaki*

住友商事(株) 資源・化学品事業部門長付

プロフィール◆1978年日本輸出入銀行(現国際協力銀行)入行。対外経済政策を担う同銀行の経営企画、各種機能を通じた日本企業の海外ビジネスの支援、アジア危機対応などの政策形成・実施、各国政治・経済事情の分析などに従事。2009年から現在の職場にて、海外の資源開発事業・インフラ事業などの資金調達や事業環境整備に関与。日本創生委員。東京都出身。趣味:語学、読書、俳句など。

奥住 直明 *Naoaki Okuzumi*

(株) 東芝 コーポレートコミュニケーション部長

プロフィール◆1979年東京芝浦電気(株)(現(株)東芝)入社、約20年間沸騰水型原子力発電所のシステム設計に従事。その後本社スタッフとして、技術管理部長、インベション推進部長を経て現職。広報、CSR、経営トップの財界活動補佐、政、官、財界などと会社を結ぶ仕事に取り組む。神奈川県出身。趣味:ピラティスマット、ゴルフ(ただし下手)

丸川 裕之 *Hiroyuki Marukawa*

JAPIC 専務理事・事務局長

プロフィール◆1981年、鉄鋼製造メーカーである新日鉄(現新日鉄住金)入社。営業企画、総務、人事、秘書、環境、広報部門を歴任。他業界や財界・官界の方々と幅広く交流。2014年JAPIC入社。本連続講義を主管。趣味は全国の建築物(主として学校)巡り、東西の美術館鑑賞、読書(日本の古典、国内外の探偵・推理小説)。

秋AB

「社会基礎学~ グローバル人材に不可欠な教養II」

第1回
10/17
【土】
13:00~16:30

【導入講義】連続リレー講義の意味・意義と狙い

丸川 裕之 *Hiroyuki Marukawa*

JAPIC 専務理事・事務局長

プロフィール◆1981年、鉄鋼製造メーカーである新日鉄(現新日鉄住金)入社。営業企画、総務、人事、秘書、環境、広報部門を歴任。他業界や財界・官界の方々と幅広く交流。2014年JAPIC入社。本連続講義を主管。趣味は全国の建築物(主として学校)巡り、東西の美術館鑑賞、読書(日本の古典、国内外の探偵・推理小説)。

【パネルディスカッション】【第1部】
グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

【パネルディスカッション】【第2部】
学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

山本 和彦 *Kazuhiro Yamamoto*

森ビル(株) 特別顧問

プロフィール◆1969年日本住宅公団を経て、74年に森ビル(株)に入社。東京のグローバル化の進展に伴ってアークヒルズ、六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ等の都市開発に関わり、現在は森ビル都市企画(株)の社長として日本の地方の再開発、韓国、台湾等アジアの都市開発のコンサルティングに携わる。不動産協会 都市政策委員長、再開発コーディネーター協会副会長も務め、若手人材の育成にも注力。

永野 真紀 *Maki Nagano*

(株) 日立製作所 経営企画本部経営戦略部 主任

プロフィール◆入社以来、システム構築の上流工程にけるコンサルティング業務に従事し、流通・産業・金融分野を担当後、電力会社の新規事業の計画や事業戦略立案など、国内外の市場調査を含めたコンサルティング業務を担当。現在は社会インフラ構築に関わる社外提案活動を手掛ける。



丸川 裕之 *Hiroyuki Marukawa*

JAPIC 専務理事・事務局長

プロフィール◆1981年、鉄鋼製造メーカーである新日鉄(現新日鉄住金)入社。営業企画、総務、人事、秘書、環境、広報部門を歴任。他業界や財界・官界の方々と幅広く交流。2014年JAPIC入社。本連続講義を主管。趣味は全国の建築物(主として学校)巡り、東西の美術館鑑賞、読書(日本の古典、国内外の探偵・推理小説)。

徳永 保 *Tamotsu Tokunaga*

本学教員

プロフィール◆本学教員

五十嵐 浩也 *Hiroya Igarashi*

本学教員

プロフィール◆本学教員

講義概要◆授業概要:グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

第2回
10/31
[土]
13:30~16:30

自動車産業の技術革新

～サステナブルモビリティ実現に向けた取組み～

西田 明生

Akio Nishida

トヨタ自動車(株) 渉外部 渉外室長 担当部長

プロフィール◆1986年トヨタ自動車(株)入社。自動車生産設備や駆動系自動車部品の調達、トヨタ自動車労働組合専従、政治渉外担当等を経て、現在、政策渉外全般(政、官)、経営トップの財界・業界活動補佐等を担当。兵庫県出身。

講義概要◆日本の自動車産業のこれまでの歩みを振り返るとともに、環境や安全など直面する課題に対して、トヨタが技術を中心にどう乗り越えようとしているのかについて論じる。

都市のソリューション輸出

野田 由美子

Yumiko Noda

PwCパートナー、PPP・インフラ部門アジア太平洋地区代表、都市ソリューションセンター長

プロフィール◆日本長期信用銀行(現新生銀行)ロンドン支店プロジェクトファインネス部次長を経て、PwC英国法人入社。日本のPFI市場の創設と発展に深く携わる。2007-09年横浜市副市長。国土交通省交通政策審議会委員、シンガポール政府CLCのUrban Solution Advisory Panelメンバー他。東京大学、ハーバードビジネススクール(MBA)卒業。

講義概要◆世界のメガトレンドであるUrbanization(都市化)は、交通・環境・災害など多様な都市課題を引き起こすとともに、世界の都市間競争を加速させている。こうした中、世界の都市のリーダーは今、どのようなチャレンジに挑んでいるのか。急速な都市化を経験・克服し、環境に優れた都市を構築してきたわが国には何ができるのか。「都市ソリューション」をキーワードに、わが国の成長と世界への貢献について考える。

第3回
11/21
[土]
13:30~16:30

日本政治の現状と課題

小池 英夫

Hideo Koike

日本放送協会 報道局 政治部長

プロフィール◆1985年NHKに入局。政治部記者として、自民党・防衛庁などを取材。首相官邸クラブキャップ・平河(自民党)クラブキャップ、「ニュース7編集責任者」などを経て、現在は政治部長。

講義概要◆日本政治の現状を多角的に分析し、国政選挙のあり方なども含め課題について論じる。

企業経営の現状・課題と戦略

～真のグローバル化とは何か?総合的な生産性向上の必要性～

佐藤 博恒

Hirotsune Sato

新日鐵住金(株) 常務執行役員

プロフィール◆1981年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。厚板営業部等を経て、2009年人事労務部長、2014年常務執行役員(現職)。その他、(一社)中央労働基準協会 会長、(一社)日本経営協会 評議委員、(一社)日本能率協会人事・教育部門評議員会 評議員を兼務。慶応義塾大学博士過程教育リーディングプログラムボード会議メンバー等の活動を通じ、後進の育成に腐心。

講義概要◆アベノミクス「三本の矢」により始まりつつある経済の好循環を一過性のものに終わらせず、持続的な成長軌道につなげるべく「日本再興戦略」改訂2014が閣議決定された。本講義では、常に産業の一翼を担ってきた日本の鉄鋼業が辿ってきた歴史と現状の解説を通じ、現在の日本が置かれている状況と、日本のものづくりが目指すべき成長戦略について、受講生の皆さんと共に多面的に考えてみたい。

第4回
12/5
[土]
13:30~16:30

世界の成長と日本

～発展途上国の成長にいかに関与するか～

宮木 勢

Isao Miyaki

新日鐵住金(株) プロジェクト開発部長

プロフィール◆1983年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。鉄鋼製品営業部門、人事労務部門、広報部門等を経て、2013年から現職。国内国土強靱化にむけての新規プロジェクトの具現化、海外日本政府援助インフラプロジェクトの成案化に向けて活動中。大分県出身。趣味:ゴルフ、釣り、登山、スキー

講義概要◆中国、インドが成長を拡大する中、東南アジア、アフリカ、中南米等が新興成長国が台頭。日本はいかにこれらの国々と向き合うべきか?日本の官民がどのようにして経済互惠戦略を構築すべきか論じる。

北東アジアの国際関係と産業界の機能

太田 誠

Makoto Ohta

21世紀政策研究所 事務局長

プロフィール◆1986年経団連事務局入局。国際経済本部調査役(北東アジア、ロシア担当)、産業政策本部次長(産業政策、国際物流政策担当)、国際協力本部副本部長(韓国担当)を経て2012年より現職。1991年~95年ソウル駐在。専門は李氏朝鮮の外交思想と行政過程論。博士(学術/東北大学)。東京都出身

講義概要◆産業競争力は、国力の重要な構成要素である。その維持・強化は、単に経済力の問題にとどまらず、国家の国際的なプレゼンスそのものを向上させ、外交・安全保障にも大きなメリットを及ぼすものと考えられる。こうした観点から、本講義では、北東アジアの国際関係における日本の立ち位置を念頭に、産業界の視点から産業競争力強化と日本のプレゼンス向上のための課題を論ずる。

第5回
12/19
[土]
13:30~16:30

日本が解決せねばならない構造的課題

片岡 隆一

Ryuichi Kataoka

財務省 大臣官房参事官(主計局)

プロフィール◆1993年通商産業省入省。「21世紀経済産業ビジョン」の策定、イラク戦争・アフリカ開発などを担当。通商政策局企画調査室長(通商白書2010)、内閣府企画官(経済対策・見直しなどの経済財政運営総括担当)、内閣官房日本経済再生総合事務局(日本再興戦略の策定)、経済産業政策局調査課長(マクロ経済政策関連の調査分析企画)を経て、昨年7月より財務省に出向。

講義概要◆日本は、世界最速で少子高齢化が進展する一方で、世界の成長センター・アジアに位置し、中国とも近い。日本の再生に向けて、失われた20年とされるデフレから脱却し、地方創生・経済再生と財政健全化の両立を同時に達成するためには、国内・対外の両方で不断なイノベーションが求められる。経済財政、少子高齢化・地方創生、ITの進展・グローバル化・リノベーションなど、わが国を取り巻く構造的な課題と必要な取組について考察する。

【パネルディスカッション】日本経済の将来と成長戦略

片岡 隆一

Ryuichi Kataoka

財務省 大臣官房参事官(主計局)

プロフィール◆1993年通商産業省入省。「21世紀経済産業ビジョン」の策定、イラク戦争・アフリカ開発などを担当。通商政策局企画調査室長(通商白書2010)、内閣府企画官(経済対策・見直しなどの経済財政運営総括担当)、内閣官房日本経済再生総合事務局(日本再興戦略の策定)、経済産業政策局調査課長(マクロ経済政策関連の調査分析企画)を経て、昨年7月より財務省に出向。

田邊 弘幸

Hiroyuki Tanabe

双日(株) 顧問

プロフィール◆1968年日商岩井(株)入社。双日(株)エネルギー金属資源部門長・専務執行役員、代表取締役副社長・米州総支配人などを経て2011年現職就任。ハーバード・ビジネススクールAMP修了。日本創生委員。三重県伊勢市出身。趣味:音楽。学生時代大学のオーケストラに参加、バイオリンを習い始めたが3年間で挫折。反動で通算9年間のNY滞在中はオペラ、交響楽団など演奏会詣でに熱中。

伊藤 和央

Kazuo Ito

WAO研究所 代表

プロフィール◆1984年運輸省入省。港湾局開発課総括補佐、国交省神戸海運監視部運航部長、新日本製鐵プロジェクト開発部部長代理(官民交流)、港湾局計画課事業企画官等。2006年から北九州市港湾空港局理事、局長を経て退職。WAO研究所代表、(株)アルファ水工コンサルタンツ特別顧問。東京都狛江市出身。趣味:日本各地の探訪、風景写真撮影、書道、読書。

門脇 直哉

Naoya Kadowaki

JAPIC 常務理事

プロフィール◆1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味:テニス、ゴルフ、読書

石田 東生

Haruo Ishida

本学教員

プロフィール◆本学教員

大学院アドバンスト・ディスカッションコース I・II・III 講義スケジュール

最新の社会問題、国際問題、ビジネス上の課題を対象に議論を行い、社会人基礎力として重要なさまざまな能力を培う。

世話教員

● 佐藤 忍 (教育企画室長、生命環境系・教授)

● 石田 東生 (システム情報系・教授)

● 野村 港二 (教育イニシアティブ機構・教授)

春ABC

大学院アドバンスト・ディスカッションコース I 「流動化する世界とこれからの日本」

担当教員 田邊 弘幸 (筑波大学客員教授、双日(株)顧問)

パネリスト 6/3 西原 茂 (双日(株)常務執行役員)、平井 龍太郎 (双日(株)執行役員)

コメンテーター 7/1 佐藤 洋二 (双日(株)代表取締役社長)

キーワード 議論を通して他者を知る事。自分を客観的に見る事。知らない空間を埋める作業を怠らない事。

第1回

5/13 [水] 筑波大学
13:30~

- イントロダクションと議論の展開
 - ・ 予め提起されたアンケートに基づく各ゼミ生による発表と議論
 - ・ テーマについての解説とそれに基づく議論の展開
 - ・ 事前に提起された宿題の発表と議論

第2回

6/3 [水] 筑波大学
13:30~

- パネラーによる発表とディスカッション
 - テーマ : 望まれるグローバル人材と日本企業の国際戦略
 - パネラー : 西原 茂 (双日(株)常務執行役員)、平井 龍太郎 (双日(株)執行役員)
 - コーディネーター : 田邊 弘幸
- 与えられた宿題の発表と議論

第3回

7/1 [水] 双日(株)
13:30~

- 双日(株)代表取締役社長による講義と質疑応答
 - テーマ : 会社経営の要諦と国際化対応等 (予定)
- 推薦図書読了後の感想文提出とその発表
- ラップアップ・セッション

● 履修申請期間 : 平成27年4月6日 (月) ~ 4月23日 (木)

春BC

大学院アドバンスト・ディスカッションコース II 「グローバル時代の企業経営について」

担当教員 武田 厚 (筑波大学客員教授、日鉄住金鋼板(株)取締役相談役)

キーワード ケーススタディとディスカッションを通しての経営疑似体験

第1回

5/27 [水] 日鉄住金鋼板(株)
11:00~ 船橋製鉄所

- イントロダクション
 1. ゼミ開講に当たって ①ゼミの狙いと主旨、②ゼミの進め方、③講師及びメンバー紹介
 2. 日鉄住金鋼板 (NISC) の変遷
 3. 基礎となる情報・知識 ①鉄の製造工程と製品 (概略)、②亜鉛めっき・カラー鋼板市場と需給構造の変化
 4. 工場見学
 5. 次回予告と質疑

第2回

6/10 [水] 筑波大学
13:00~

- 企業の統合・再編
 1. ケース①NISCの誕生と事業構造改革 ~発表・討論
 2. ケース②経営システム統合 (BPI運動) ~発表・討論
 3. ケース③ブランド統合プロジェクト (ニスクカラー) ~発表・討論
 4. まとめ及び次回予告と質疑

第3回

6/24 [水] 筑波大学
13:00~

- 事業の海外展開
 1. ケーススタディ 複数の具体的事例をもとに、事業の海外展開におけるリスク、統合再編・合併事業に関わる企業統治等について討論する。
 2. まとめ及び次回予告と質疑

第4回

7/15 [水] 筑波大学
13:00~

- M&Aによる事業拡大
 1. ケーススタディ M&Aにより事業を拡大した複数のケースについて事業発展の可能性について評価する。
 2. まとめ
 3. 全体総括 (ゼミ終了に際して) ~コーポレートガバナンスに触れながら

● 履修申請期間 : 平成27年4月6日 (月) ~ 5月15日 (金)

秋AB

大学院アドバンスト・ディスカッションコース III 「テクノロジーとグローバルで拓く未来」

担当教員 岩田 真二郎 (筑波大学客員教授、(株)日立製作所 代表執行役 執行役員副社長)

メンター 検討中

キーワード 夢と情熱。ビジネスは知的格闘技。Disruptive Technology。グローバルに戦う。質問力/問題発見能力/仮説構築力。

第1回

10/17 [土] 筑波大学
13:00~

- グローバルに生き・仕事をして行く
 - 何故、今、グローバル化が必要なのか、そして、ビジネスのグローバル展開に必要な事は何かを実ビジネスの視点・経験を踏まえて議論する。同時に、グローバルに生き・仕事をして行く為に、必要な人材像、ビジネス文化の相違についても議論・検討する。

第2回

11/21 [土] 筑波大学
13:00~

- テクノロジーで未来を拓く
 - 何故、日本の将来にとってテクノロジーが重要かを議論・検討する。そして、「イノベーションのジレンマ」を教材に使い、テクノロジーが産業に与える影響を研究する。又、事例研究として、富士フィルム及び日立製作所を取り上げ研究する。

第3回

12/17 [木] 都内の日立施設
13:00~

- テクノロジーで未来を拓く
 - 第2回に引き続き、何故、日本の将来にとってテクノロジーが重要かを議論・検討する。そして、「イノベーションのジレンマ」を教材に使い、テクノロジーが産業に与える影響を研究する。又、事例研究として、富士フィルム及び日立製作所を取り上げ研究する。
- グローバルに活躍する人達からのメッセージ
 - 企業で実際にリーダーとしてグローバルに活躍する経営者から、これまでの経験、今後の方向、課題について講演を頂き、それに対し、質疑応答を通じ理解を深める。(決まり次第お知らせ)

● 履修申請期間 : 平成27年4月6日 (月) ~ 9月30日 (水)